

真光寺川通信

10月号--通算第189号--

2020年10月11日

真光寺川の魚達

私 は真光寺川で捕れたオイカワ、タモロコ、カワムツ、クチボソ、ドジョウ等の小魚を飼育している。ドジョウ以外は皆流線型の体型を持ち、素早く銀鱗に輝く姿は何とも美しい。

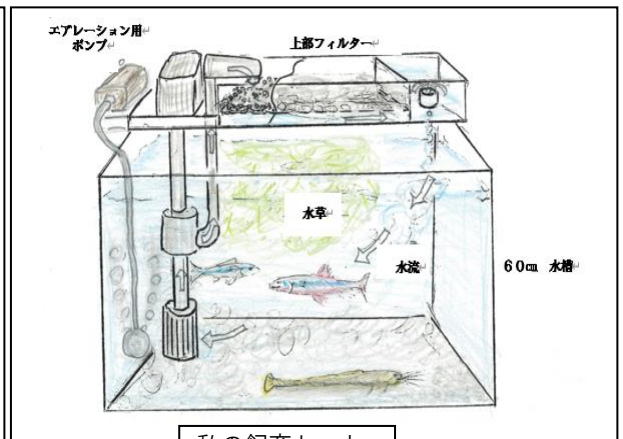
月1回の川清掃の時に川沿いの遊歩道に『真光寺川ミニ水族館』として展示し、道行く人々に見てもらっている。多くの方が足をとめ、“わあっ・・・！この川にこんな魚がいるんだ！なんていう魚？”と驚きの眼差しで見つめてくれる。子供達は生き物が大好きでしばし水槽から離れないことも多い。特に5

月下旬頃から産卵期に入ったオスのオイカワはキレイな婚姻色を発色し、見応えがある。真光寺川では一番人気だろうと思っているのだが、ドジョウも子供達に人気。今いるものはここで5年以上の最古参である。

真 光寺川は生物の生息に適した良好な環境、水質とはまだ言えないが、生き物たちはそれなりに順応して元気な姿を見せてくれている。水槽展示は、鶴川市内を流れる身近な小さな川に、こんなにも美しく生き生きと泳ぎ回る小魚たちがいるということも多くの方に知ってもらいたく始めたもの！ た



真光寺川の魚たち 中央に朱を帯びているのがオイカワ



私の飼育セット

だ、その為にはまず元気な状態での飼育が肝心。当初は水流、水温等なかなか難しそうであったが、8年経った今比較的うまく飼育出来ているようだ。水温に関しては高温に弱くせいぜい25℃位が限界との情報。しかしながら、近年は高温化の影響で夏場は当たり前のように30℃を超える！そのような時は凍らせたペットボトルで温度を下げたものだ。冬は冷えすぎて可哀そう！熱帯魚もときにヒーターを入れ、15℃以上にコントロール！大いに気がついたものだが、今では環境に順応してくれているようだ。異常な暑さの続く

近年だが、凍らせたペットボトルもヒーターも今は全く使っていない。水流に関しては上部フィルターを設置し、一方から水を吸い上げ、反対側に落とし込むことにより流れをつくっている。さらに酸素を補給するためエアレーションを行っている。今では月1, 2回の水替え・上部フィルターの手入れを行う程度でなんとか飼育出来ている。そして毎日元気にエサを追う姿を見て楽しんでいる。上図は現在飼育している水槽の状況である。

こ れらの川魚は金魚、熱帯魚等とは違った魅力がある。(裏ページへ続く)

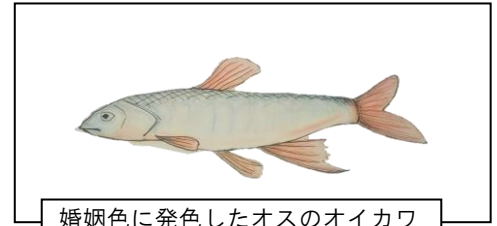
子供が遊べるふるさとの川へ、自然豊かな川の散歩道に、きれいな川にしましょう！

銀鱗に輝く美しい姿態、流線型の体型を生かしたスピードと見事な体さばき！それらは餌を追うときに存分に発揮され、見ていて全く飽きない。今、川辺の植物の根元を網でガサガサすると小さいエビがたくさん捕れる。エビは小魚達にとっては格好のエサ。主にこれを捕食して小魚たちは成育する。これらの小魚が増えることによりこれを狙うカワセミ、サギ等の鳥も増え、散歩していると獲物を狙うシーンに出くわすことが多くある。そんな時は自然の大切さをつくづく実感させられる。

川 沿いにはいろいろな樹木、草花が育ち、虫たちにとっても、そのほかの生き物にとっても絶好の環境。まさにこの小さな川

の回りで自然の営みが行われており、私たちを楽しませてくれる。

更にこれからの技術的な進歩、人々のキレイにしたいという気持ちが真光寺川をますますキレイにしてしてくれるだろう。その時は水辺で生き物を追う子供達、少し離れてのんびりと釣り糸を垂れる人、美しい川の流れをスケッチする人、それらを眺めながら散歩を楽しむ人など流域の人々にとって素晴らしい憩いの場となるだろう。



婚姻色に発色したオスのオイカワ

(文 志田 徳雄)

メダカポスト: お礼

8月～9月は、真光寺3丁目
の山内様からのご寄付にメダカ
ポストへのご寄付を合算して、
11,070円でした。

当会の活動に対しお寄せ
いただいたご厚志に深く感謝いたします



11月・12月の清掃(クリーン作戦)の予定

☆11月8日(日)、12月13日(日)

☆集合:9:30 下堰親水場

(能ヶ谷4丁目、魅力屋ラーメン店裏)

☆持物:軍手。その他ごみ袋、火ばさみや
長靴など一部用意があります。

☆解散予定 11:00

どなたでも参加できます。
ご一緒に川をきれいにしませんか。

☆真光寺川を清流にする会 代表:山本隆治
事務局:黒田 TEL/FAX:042-708-4269
(お問合せは黒田までお寄せください)

☆真光寺川を清流にする会のHP

<http://www.shinkojigawa.com/>

e-mail: kawasemi@shinkojigawa.com

8月・9月の清掃報告

8月9日は天気は曇り、18名が参加し、15袋のゴミと炊飯器を回収しました。久しぶりに森本市会議員の所属しているクレインライオンズクラブのメンバー6名が参加し川に入って清掃していただきました。また新人(宮脇さんと浮ヶ谷さん)が仲間に加わってくれました。川辺ではオハグロトンボが乱舞していました。

9月13日は暑さも平年並みで、曇りに恵まれ、17人が参加、16袋のゴミを回収しました。この日は女子高生1名と森本市会議員のもとで夏休みに研修していた3名の大学生もボランティアとして参加してくれ、助かりました。川に足を入れると小魚がさっと逃げ、川辺ではオオブタクサが群生し、赤い彼岸花も咲き始めていました。

両日とも集合場所の下堰親水広場で真光寺川にすむ魚のミニ水族館を展示しました。婚姻色のオイカワも泳いでいて、市民を楽しませていました。